

2013年 第一回日本生理学会編集・広報委員会議事録

日時： 2013年3月26日 於 タワーホール船堀

出席者： 多久和 典子（委員長）、上田陽一、宇賀 貴紀、奥谷 文乃、尾野恭一、奥村 哲、久野みゆき、小泉 周、小林 誠、相馬義郎、田代 倫子、村山 尚（書記）、毛利 聡、山下 俊一、渡辺 賢（副委員長）

議題（審議・報告）

1. 報告事項

- (1) EBSCO：74巻5号まで提供を完了した。
- (2) 今回の総会で承認される下記事項に関し、決定後は速やかにホームページにアップロードすることが確認された： 利益相反の記載、Privacy policy、一般社団法人化に伴う規約の変更、総会議事録、各種委員会報告、特別会員
- (3) 日生誌のPDFファイルのホームページ(HP)アップロードの障害は、新たなサーバーを用意することにより解決した。
- (4) HP更新の業者選定作業の進捗状況について報告があった。

2. 審議事項

(1) 日生誌について

① Symposia の掲載方法・原稿依頼の方法について、2013年のSymposia 担当者である渡辺副委員長より以下の提案があった。「2012年度よりSymposia の掲載が始まり日生誌の内容が充実したものになった。その反面、ページ数増加による印刷・郵送費用の上昇から赤字化が懸念される。Symposia の一部または全部をWEB掲載とした場合の経費削減の程度を杏林舎に見積もってもらったところ、(i) オーガナイザーのまとめを印刷し、各シンポジストの原稿はWEB掲載のみとする場合で約80万円、(ii) Symposia 原稿全てをWEB掲載のみとする場合で約150万円の経費削減が可能となることがわかった。(ii) 案では削減額は大きいですがSymposia の広報が十分されない懸念があり、(i) 案でも十分な経費削減が期待されるので、(i) 案を提案したいので審議をお願いしたい。」 審議の結果、現在の厳しい予算状況では一部WEB化も止むなしということで、全員一致で(i)案を採択した。Symposia 掲載は75巻4号から76巻2号まで均等に掲載予定とし、76巻3号を予備とする。併せて、日生誌発行に合わせてWEBページのリンク先URLを学会の一斉送信メールで会員に周知すること、来年度の生理学会大会では、シンポジウム募集の段階でSymposia 掲載の詳細・原稿締め切り等についてアナウンスを行い、周知することが確認された。

② 校正担当者、分担は2013年も現行通りとする。

③ 校正の方法として、2012年よりPDFでの校正、メールによる連絡を試行したところ、特に支障がない様であり継続することとなった。

④ VISION、OPINION の執筆者が少ないので年齢を問わず執筆候補者の勧誘に努める。

⑤ 「若手の広場」のコーナーが2012年から新設された。さらに拡充をはかるため、Afternoon Teaのような持ち回り形式も視野に入れ、引き続き検討を行う。

⑥ 日生誌PDFファイルのHPアップロード、EBSCOサイトへのファイル提供業務は、それぞれ相馬委員、多久和委員長が行っている。今後後継者育成とサステナビリティの観点から複数の担当者にすることを検討する。

(2) HPについて

HP 更新について、多久和委員長より以下の説明があった。「現在の HP は開設から 10 年以上経過し、その間普及してきた既製のソフトウェアと互換性がなくなり、日生誌 PDF ファイルアップロードの不具合やデザイン更新の障害が顕在化してきている。そこで 2012 年中からリニューアルを検討し、ホームページに公募を掲載したところ、現在までに 2 社から提案があった。」提案されたデザイン・仕様書等を参照し活発な議論の結果、1 社は見積が高額であり採用出来ないことがわかった。もう 1 社の見積提出を待つとともに、HP にて再度公募を行うこととなった。再公募の文面には、年間管理費の目安を明示するとともに、既存の Contents Managing System を採用した安価で効率的なリニューアル達成をめざすこと、Facebook、Twitter などの SNS を積極的に活用することなどを盛り込むことになり、山下委員が公募の文面を作成し、メール会議で確認後 HP にアップロードすることとなった。

以上